

社会福祉法人岩手県社会福祉事業団
令和7年度 共同生活事業所「オリザ」地域連携推進会議事録

I 開催日時 令和7年11月25日(火) 13時30分から14時50分まで

II 開催場所 生活介護事業所「ジョバンニ」 ホール

III 出席者

所 属	職 名	備 考
利用者		
利用者家族		欠席
花巻市福祉部障がい福祉課	自立支援係長	
北上市福祉部障がい福祉課	上席主任	
花巻市諏訪行政区	区長	
福祉に知見のある者		

IV 議事等

1 開会

2 あいさつ

岩手県社会福祉事業団 事務局次長

3 出席者紹介

4 座長選出

5 議題等

(1) 地域連携推進会議について(本会議の目的等について説明)

※意見等なし

(2) 事業所概要について

【主な意見等】。

・ アクシデントとインシデントの報告があったが、薬の事故はどのように発生し、発見しているのか。

→ インシデントとアクシデントについて説明させていただく。インシデントは、間違いはあったが、実害に繋がる前に気が付いたもの、アクシデントは、転倒してケガをした、薬を飲ませ忘れた等誰かに影響が及んだ場合を指している。

各ホームに5～6人ほどの利用者があり、薬を分ける際に入れ忘れた薬があったが、実際に利用者に服薬する前に気づいたものである。照合は丁寧に行っているが、なるべくミスが起きないようにルールを定める等の対策を講じている。

・ 共同生活事業所の運営について、利用者が地域で生活するためにはマンパワーが不可欠であるが、世話人や支援員は充足しているのか。何か課題はあるか。

→ 支援員が今月末で1名退職となるため、欠員が生じる見込み。やさわの園自体でも欠員が多いが、社会的に労働力が不足しているので、人員の確保に努めているところ。職員が長く働けるよう、風通しのよい、働きがいのある職場づくりにも努めたい。

さらに花巻・北上地域は、近隣に大きな工場等もあり、賃金で比較されると応募がない現状であるので、委員の皆様からもお声かけいただきたい。

(3) 活動状況について

※意見等なし

(4) 意見交換

【主な意見等】

- ・ インシデントの件数を0にすることは難しいと思うが、なるべく発生させないように努めていただきたい。幸い大きな事故は発生していないとのことなので、引き続きよろしくお願ひしたい。
- ・ 改めて職員の支援が大変であると感じた。他施設でも職員が苦勞して支援しているのを見かけたことがある。今後も頑張っただきたい。
- ・ 利用者の余暇支援について、地域で暮らし、就勞している利用者は自由にできるが、障がい重い方はそれが難しい。コロナ禍以前は、法人職員がボランティアとして参加して旅行を支援する「ニコニコツアー」があったが、今後復活する見通しはあるか。
また、グループホームの利用者の経済状況について、ギリギリで生活している方がいる。物価高騰に伴い、様々な物が値上がりしている。中には2～3割ほど値上がりしているものもあり、ホームの生活にも支障が出てくるように思うが、公的な支援機関からの援助等、何か対策を講じる予定はあるか。
→ ニコニコツアーについて、大勢で出かけることへのリスクや物価高騰に伴う費用負担の増が懸念される。利用者によって経済状況も大きく異なり、ホームの家賃等生活費の課題もある中、職員の費用も負担するとなれば大変と思われる。また、職員の欠員もあり、ツアーに同行するボランティアを確保することも難しい。以前、ニコニコツアーの企画を依頼していた代理店が撤退したこともあり、再開の見込みはない。
日帰り旅行を行っている事業所もあり、それぞれ工夫いただいている。
→ 物価高騰に伴う経済状況について、一般就勞者は余裕があり、重度の利用者は障害年金で賄っている。一方で、中軽度の利用者で就勞継続支援の事業所に通われている方は、事業所で工賃の見直しをいただいているものの、高くても月20,000円弱、障害年金は2か月に1回、合算して月平均75,000円ほどである。所持金が目減りしてきており、今後についてご家族と相談しているケースもある。
公的支援について、物価高騰給付金等を昨年度まで支給いただいたが、30,000円～40,000円ほどであった。
年金の支給額については、相談支援事業所にも確認してみたが、なかなか難しいとの回答であった。
→ 物価高騰が打撃となり、特に障害年金が少ない方は暮らしが厳しい。世間では、この事実について知らない人もいるので、委員の皆さんはじめ、関係者にもぜひご理解いただきたい。
- ・ 利用者同士でからかい合うようなことがないよう、世話人や職員にお願いしたい。
→ 利用者の皆さんが仲良く暮らせるよう、アドバイスや支援を行っていく。

(5) その他

特になし

6 閉会

やさわの園 園長

■ホーム見学の状況

日 時	令和7年11月25日（火）15:20～15:40 ※地域連携推進会議終了後
参加者（人）	5人
場 所	共同生活事業所「オリザ」 ねねむホーム
参加者からの 主な質問、感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ねねむホームという名前はどのように付けたのか。 → この場で明確には言えないが、やさわの園グループの事業所名等は宮沢賢治の童話を由来としているものが多い。ねねむホームは、「ペンネンネンネンネン・ネネムの伝記」という童話が由来と思われる。 ・ 地域連携推進会議は年に何回開催するものか。 → 年1回を予定している。 → 来年度も今時期を想定しているのか。 → その予定である。